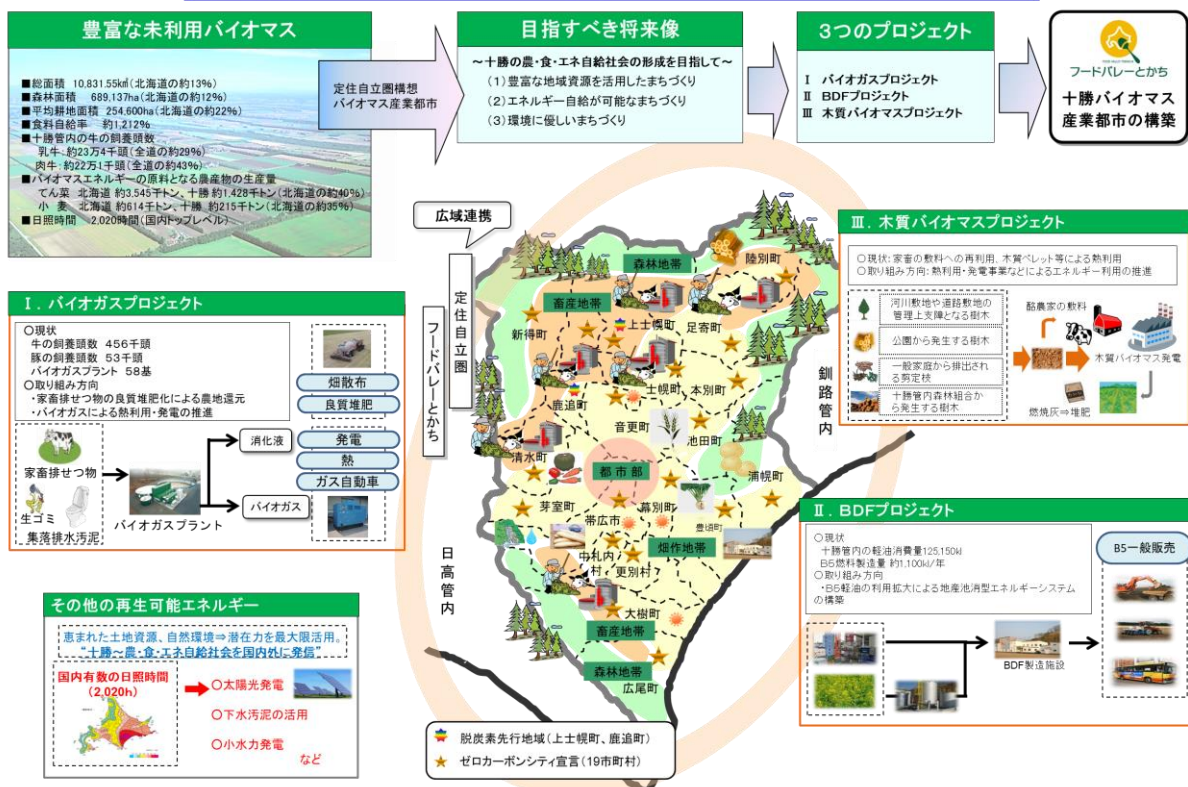


北海道帯広市

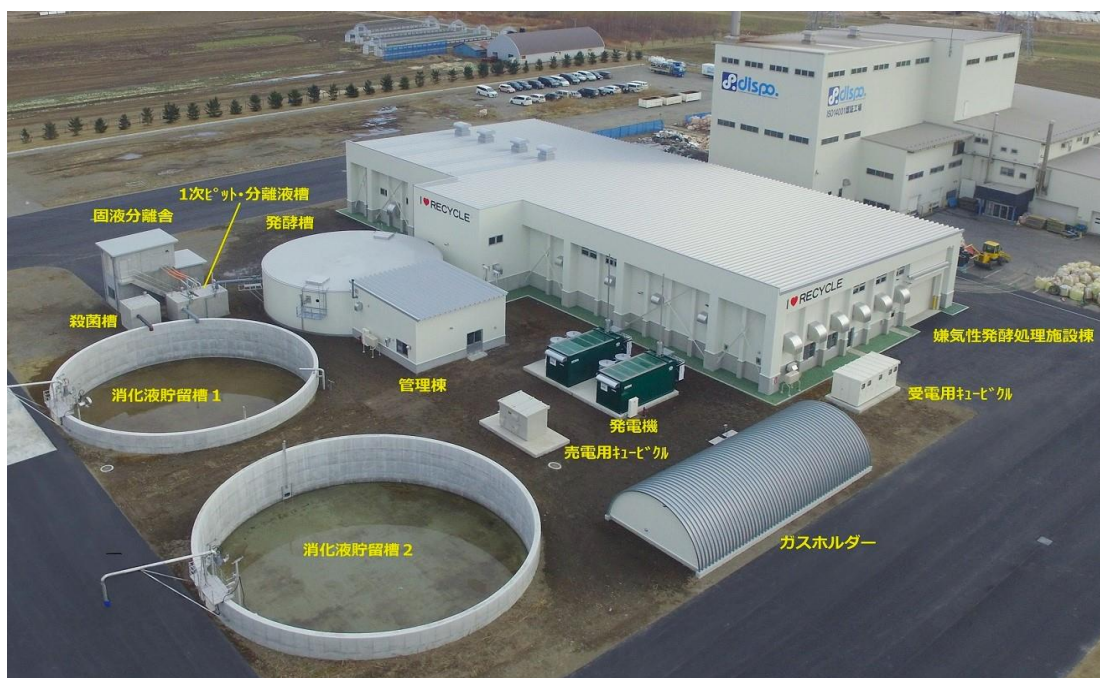
住所	〒080-8670 北海道帯広市西5条南7丁目1
市長	米沢 則寿
HP	https://www.city.obihiro.hokkaido.jp/
バイオマス産業都市選 定地域名	北海道十勝地域（帯広地区）
選定年度	2013年度
担当部署	帯広市経済企画課
連絡先 TEL	0 1 5 5 - 6 5 - 4 1 6 3
連絡先 FAX	0 1 5 5 - 2 3 - 0 1 7 2
連絡先 E-mail	keizai@city.obihiro.hokkaido.jp

地域循環型エネルギーシステムの構築 ～フードバレーとかちの実現をめざして～



事業化プロジェクトの概要 1

名称	株式会社 DISPO. バイogas発電事業	
実施主体	株式会社DISPO.	
使用する技術	メタン発酵	
実施体制	プラントメーカー	(株)土谷特殊農機具製作所
	設計・施工業者	設計：(株)高田建築設計事務所 施行：萩原建設工業(株)
概要 (計画)	バイオマス原料	作物・野菜残さ、食品製造口ス、 乳用牛排せつ物
	原料処理量	3,934.8 (t/年) (計画値)
	原料投入量	3,934.8 (t/年) (計画値)
	生産物	バイオガス、液肥、固形分（肥料登録済）
	発電量	1,142,450 (kwh/年) (計画値)
	FITの適用	■ FIT適用 □ FIP適用 □ FIT/FIP対象外
	副産物生産量	液肥：3,752.2 (t/年) (計画値) 固形分（肥料登録済）：182.5(t/年) (計画値)



①メタン発酵施設全景



②嫌気性発酵処理施設棟 原料受入室 1



③嫌気性発酵処理施設棟 原料受入室 2



④発酵槽内



⑤ストックヤード1



⑥ストックヤード2



⑦発電機



⑧消化液(液肥)貯留槽



⑨液肥散布用具

事業化プロジェクトの概要 2

名称	帯広市終末下水処理場バイオガス利活用	
実施主体	帯広市	
使用する技術	メタン発酵	
実施体制	プラントメーカー	株式会社荏原製作所
	設計・施工業者	水 ing エンジニアリング株式会社
概要 (計画)	バイオマス原料	汚泥
	原料処理量	消化ガス 120,000 (m ³ /年) (計画値)
	発電量	206,000 (kwh/年) (計画値)
	FITの適用	☐ FIT適用 ☐ FIP適用 ☒ FIT/FIP対象外

バイオマス事業の進捗状況

事業化プロジェクト名	進捗状況
1.(株)DISPO. バイオガス発電事業	原料投入量：2,851.5 t (72.5%) 【2022年度実績値】 発電量：517,967kWh (45.3%) 【2022年度実績値】 液肥：2,543.5 t (67.8%) 【2022年度実績値】 固形分：91.5 t (50.1%) 【2022年度実績値】
2.帯広市終末下水処理 場バイオガス利活用	2011年有効利用設計、2012年発電の実施設計 2013年3月下水道事業により施設整備を行い、2014年5月に運用開始。発生電力は、施設で利用。

イニシャルコスト(単位：千円)

事業化プロジェクト	2. 帯広市終末下水処理場バイオガス利活用
建設費・設備費等	建設費：181,650

事業の経営状況

事業化プロジェクト	計画との進捗比較※	事業実施による効果	
		効果	数値化
2. 帯広市 終末下水処理場バイオガス利活用	B ほぼ計画通りに進捗している	消化ガス発電設備の運用	161,890(kwh) 【2021年度】

成功要因

事業化プロジェクト	成功要因
2. 帯広市 終末下水処理場 バイオガス利活用	2014年の発電設備の導入・運用前から、汚泥をメタン発酵させ、発生したメタンガスを施設内で暖房利用していたが、夏季は余剰ガスが発生していたため、そのガスを活用し発電を行い、施設内利用とした点。

波及効果（雇用増加、CO₂削減効果等）

事業化プロジェクト名	成功要因
帯広市終末下水処理場バイオガス利活用	消化ガス発電によるCO ₂ 削減

地域における脱炭素に関する計画について

地域における脱炭素化に関する取組概要

太陽光発電等をはじめとする再生可能エネルギーの導入促進を図るほか、市民の具体的な省エネ行動を促す普及啓発を積極的に進めている。また、脱マイカーやエコドライブを推進するほか、エコカーへの転換、環境にやさしい公共交通の利用促進などを進めている。

さらに、家畜排せつ物、農業残さなど、多種多様なバイオマスを活用したエネルギーの地産地消などを進めている。

計画名称等	策定済の場合 策定した年度	策定中の場合 策定予定の年度
地方公共団体実行計画 （区域施策編）	2018年度 ※計画期間：令和元（2019） 年度～令和5（2023）年度 https://www.city.obihiro.hokkaido.jp/kurashi/kankyo/model/1003697.html	令和5（2023）年度 ※計画期間：令和6（2024）年 度～令和12（2030）年度
重点対策加速化事業 （地域脱炭素移行・再 エネ推進交付金）		令和5（2023）年度
ゼロカーボンシティ宣言	2023年6月13日 https://www.city.obihiro.hokkaido.jp/kurashi/kankyo/1012626/index.html	

目標 (目標年)	基準年度 平成25(2013)年度	温室効果ガス排出削減目標
中期目標 (2030年度)	温室効果ガス排出量 【169万t-CO ₂ 】	▲48% (▲82万t-CO ₂) 【87万t-CO ₂ 】
	1人当たりの温室効果ガス排出量 【9.99t-CO ₂ 】	1人当たりの温室効果ガス排出量 【5.47t-CO ₂ 】
長期目標 (2050年)	—	ゼロカーボン (温室効果ガス排出量実質ゼロ)

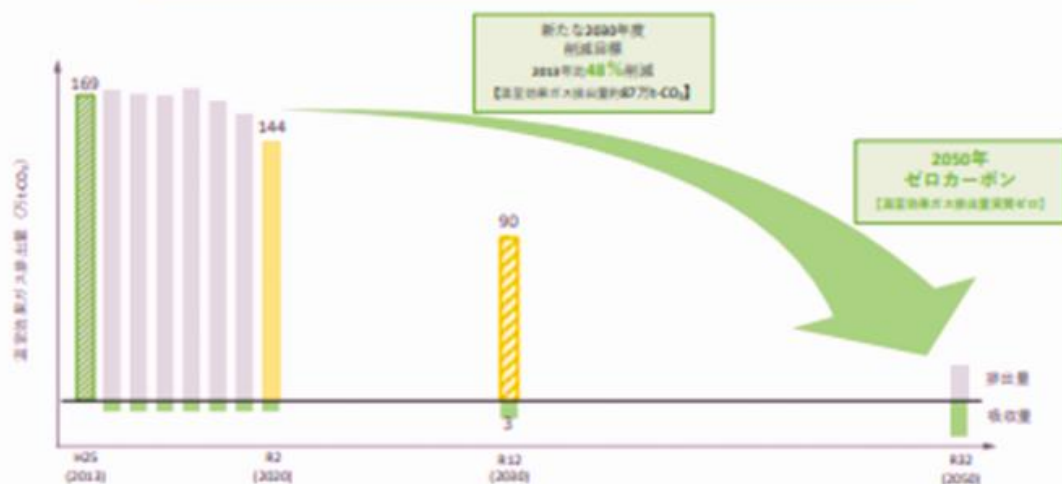


図 4-1 目標達成に向けたイメージ

